

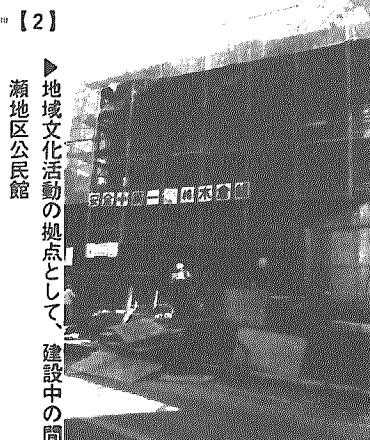
△水の安定供給をめざして建設中の夏井新浄水場



▶岩室村は四季の自然に恵まれた美しい村



△いつも街角に笑顔あふれる村づくりをめざして



▶地域文化活動の拠点として、建設中の間瀬地区公民館

新春を迎えて

明けましておめでとうございます。清々しい新年を迎えられ謹んでお慶び申し上げます。

昨年は五十九年度事業として進めてきました。本村初の工業団地の造成も予定どおり終わり、関係者のご協力で現在、大小併せて九社の工場が進出いたしました。また継続事業として進めています。その他一連の

県を含めた公共、単独事業も一部工事中のものを残しながらも、年度末までには、完成の運びとなります。これも偏に皆様の深いご理解とご協力によるものであり、深甚の謝意を表す次第です。

新年早々、六十年度の予算編成に本格的に取り組みますが、ご案内のように最近の国および地方の財政は、大幅な收支不均衡を生じかつてない困難な状況に直面しています。国においては臨時行政調査会の答申を尊重しながら行政改革を推進し、六十年度予算編成にあたっては「増税なき財政再建」を基調に、大変厳しい概算要求基準で、経常部門一〇%削減、投資部門五%削減を設定しています。一方、地方財政においては、五十年度以降の財源不足の補てん措置等により、地方債および地方交付税特別会計借入金の残高が約五十四兆円にのぼっているなど国と同様、極めて厳しい状況にあります。そのうえ、国庫補助金の一方的な削減や交付税の減額など国家財政のしわ寄せが確実視されています。つまり収入はややもすれば減額傾向にある中で、義

えています。しかし最善の努力と英知を結集して対処していきたいと思います。そして一万村民の負託に応えるべく自然を生かし、調和のとれた新しい村づくりの指針「夢とやらぎのあるふるさと岩室村」の建設をめざして、全力をかたむけて取り組む覚悟です。ど

年頭の辞

明けましておめでとうございます。輝かしい昭和六十年の新春を皆様とともに迎えることができましたことを心から嬉しく存じます。

私は昨年一月十五日の村議会議員選挙後の村議会において、再び議長に就任させていただき、以来議会の円満な運営と村勢の進展を第一義として、誠心誠意努めてまいりました。おかげをもちまして大過なく新春を迎えることができましたことは、皆様のご支援、ご協力の賜物と衷心から感謝の意を表する次第であります。

また今年は旧間瀬村と合併して三十年。旧和納村と合併して二十五年を迎えるわけですが、合併後、これといった産業もなく過疎減少の傾向は否めませんでしたが、時代の推移とともに田地造成等により人口が増加し、待望の一万人を超えるに至りました。これも皆様の愛村精神が極めて盛んであり、行政運営の良き結果である、と評価いたしております。

そして村の基本構想に基づく新浄水場の建設も順調に進んでおり、年々増大する水需要に的確に対応し、また間瀬地区公民館の新設も年度内竣工の運びとなり、その機能を十分

村議会議長
藍沢 六郎

発揮して地域活動の拠点として今後の社会教育等の推進に大きな役割を果たしてくれるものと期待しております。

最後になりましたが皆様のご健康とご隆昌を心からお祈りし新年のご挨拶といたします。

岩室村長
金子 誠一

務的な支出だけは増大するという矛盾が生じつつあり、まさに地方財政の危機さえ感じさせる、極めて厳しい情勢にあります。

しかし、このような苦しい状況下ではあります、限られた財源を最も適切で効果的な運用を計りながら、皆様の期待と村の発展のために努力精進を重ねてていきます。したがつて六十年度の重点施策として、次の事項について推進実現を図っていきます。

まず新規事業の防災行政無線設置事業を中心にながら、継続事業である水道事業の整備、水田利用再編対策の促進、農村総合整備

幾多の問題を一つひとつ解決して…

最善の努力と英知を結集して…

せらる、まさに地方財政の危機さえ感じさせることなく、皆様の期待と村の発展のために努力精進を重ねてていきます。したがつて六十年度の重点施策として、次の事項について推進実現を図っていきます。

まず新規事業の防災行政無線設置事業を中心にながら、継続事業である水道事業の整備、水田利用再編対策の促進、農村総合整備

せらる、まさに地方財政の危機さえ感じさせることなく、皆様の期待と村の発展のために努力精進を重ねてていきます。したがつて